

企画展

南葵音楽文庫

音楽の殿様・頼貞の 楽譜コレクション

平成29年(2017)

平成30年(2018)

12月3日(日)～1月21日(日)

【休館日】月曜日(ただし、1月8日(月・祝)は開館、翌9日(火)は休館)
年末年始(12月29日(金)～1月3日(水))

【開館時間】午前9時30分～午後5時(入館は午後4時半まで)

【料金】一般280円(220円)、大学生170円(140円) * ()内は20人以上の団体料金
高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料



徳川頼貞肖像

▼ベートーヴェン：諸国民の歌(ロシアの歌)
©慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター



南葵楽堂

ミュージアム・トーク

芸術資源研究所の研究員が、それぞれのテーマで解説します。

12月17日(日)

「南葵音楽文庫の至宝1 パーセル」

12月24日(日)

「南葵音楽文庫の至宝2 ハイライト」

1月7日(日)

「南葵音楽文庫の至宝3 ベートーヴェン」

1月14日(日)

「頼貞の側近、喜多村進というひと」

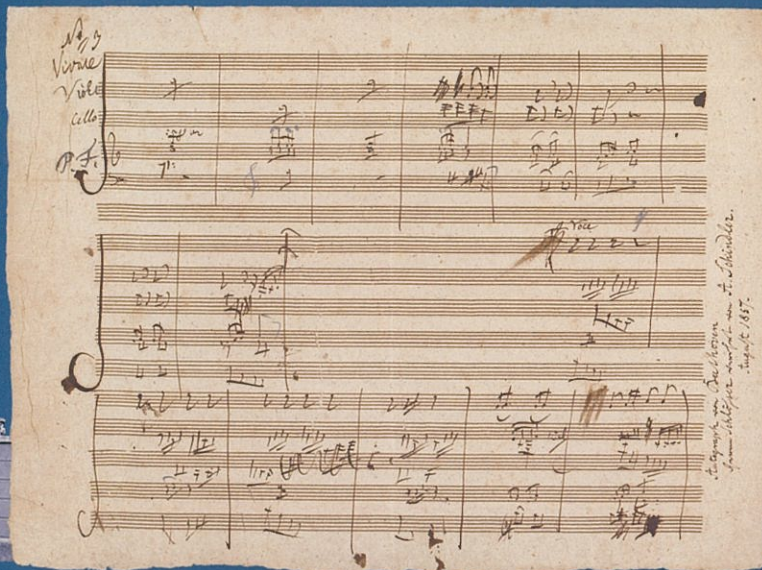
1月20日(土)

「徳川頼貞侯への手紙 世界の音楽家から」

* 毎回午後1時30分～2時30分に展示室内で実施
(入館の手続きが必要です)

* テーマ、内容は変更になることがあります。

■常設展「きのくにの歩み」と同時開催します。



▶ パーセル：歌劇「デイドとエネアス」



▲ 南葵音楽図書館蔵書印

▶ 南葵音楽文庫
蔵書ラベル

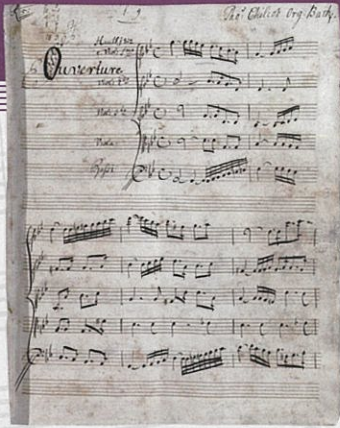


企画展「南葵音楽文庫 音楽の殿様・頼貞の楽譜コレクション」

南葵音楽文庫は、紀伊徳川家16代当主の徳川頼貞(1892～1954)が、莫大な費用を投じて収集した西洋音楽関係資料のコレクションです。幼少のころから音楽に関心を持っていた頼貞は、イギリスに留学して音楽を本格的に学び、帰国後、東京・麻布飯倉に音楽ホール・南葵楽堂を建て、その中に南葵楽堂図書部(のちの南葵音楽図書館)を併設しました。頼貞は、イギリスの音楽研究者であったW.H.カミングス(1831～1915)の蔵書の一部474冊(カミングス・コレクション)をはじめ、数多くの音楽書・楽譜を収集して音楽図書館に架蔵しました。南葵音楽図書館の活動は昭和7(1932)年に終息し

ますが、その後、南葵音楽文庫の蔵書は歴史の荒波を乗り越えて、現在は公益財団法人読売日本交響楽団に所蔵されています。

このたびの企画展は、南葵音楽文庫の蔵書約2万点がすべて和歌山県に寄託され、それらを活用した活動が一部開始されることを記念して、南葵音楽文庫の最も貴重な資料約100点を紹介します。あわせて、はじめ南葵音楽図書館に勤務し、のち和歌山へ帰郷して和歌山県立図書館司書になった喜多村進(1888～1958)が残した、南葵音楽文庫に関わる資料も初公開します。



▲ヘンデル：歌劇「ムツィオ・シェーヴォラ」

©慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究センター



▲ウェーバー：歌劇「魔弾の射手」



▲フック：声楽作品集



▲タイ：使徒行伝



▲ザ・ロモン：歌劇「ウィンザー城」



▲晩年の喜多村進



◀カミングス蔵書票

周辺ミュージアムの展覧会

和歌山県立近代美術館(県立博物館となり・TEL.073-436-8690)

特別展「アメリカへ渡った二人 国吉康雄と石垣栄太郎」10月7日(土)～12月24日(日)

第71回和歌山県美術展覧会/第3回和歌山県ジュニア美術展覧会 1月10日(水)～28日(日)

和歌山県立紀伊風土記の丘(和歌山市岩橋1411・TEL.073-471-0123)

冬期企画展「うつわに隠された物語～装飾付須恵器の世界～」1月20日(土)～3月4日(日)

和歌山市立博物館(和歌山市湊本町3-2・TEL.073-423-0003)

企画展「歴史を語る道具たち」1月10日(水)～3月4日(日)

わかやま歴史館(和歌山市一番丁1-3・TEL.073-435-1044)

企画展「藩主が楽しんだ陶芸」11月3日(金・祝)～12月24日(日)

和歌山県立博物館のこれからの展示

企画展「ふるさとからのおくりもの 新収蔵品展」1月27日(土)～3月4日(日)

企画展「きのくに 縁起絵巻の世界-開かれる秘密の物語-」3月10日(土)～4月15日(日)



◆JR和歌山線-南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車、徒歩2分
◆和歌山ICから車で約20分 ◆和歌山港から車で約7分